



防災推進国民会議が開催された首相官邸

# 第3回防災推進国民会議 障害関係から阿部会長参加

中央防災会議(会長内閣総理大臣)と協力しつつ、国民の防災に関する意識向上を図ることを目的とした防災推進国民会議が、12月8日、首相官邸(東京都千代田区)において開催され、障害関係から阿部一彦(身連)代表として出席しました。

同会議は中央防災会議会長である内閣総理大臣が依頼する各界の有識者で構成され、毎年1回開催されています。会議で安倍総理は「防災大国である我が国が、過去の悲惨な経験から学んできたことは、公助・共助・自助の大切さ」であるとして「先日、仙台で開催された『防災推進国民大会2017』をはじめとして、国民の防災意識を高める取組を今後も一層推進していきたい」と、各分野の更なる協力を呼びかけました。JDF代表として参画している阿部日身連会長は、防災推進国民会議2017

# 日身連

発行所  
社会福祉法人  
日本身体障害者団体連合会  
(中央障害者社会参加推進センター)  
発行人 阿部一彦  
東京都豊島区目白3丁目4の3  
ディアダックビル4階  
TEL 03-3565-3399(代)  
FAX 03-3565-3349  
http://www.nissinren.or.jp  
Japanese Federation of  
Organizations of the  
Disabled Persons (JFOD)  
年間購読料 正会員1部 300円  
非会員1部 1000円

と同時開催された世界防災フォーラムのセッションにおいても地域防災の在り方がテーマとなったことに触れ、「今後の地域防災・減災・ユニバーサルデ

## 平成30年度予算税制等に関し 与党へ要望書提出

日身連では、自民党及び公明党に対し、来年度の予算税制等に関する関係団体合合において意見要望を行いました。

自民党においては、11月8日、党本部会議室で「政策懇談会」が開催され、日身連からは土岐達志副会長、飯塚善明常務理事兼事務局長が出席、また、公明党においては、17日、参議院議員会館内会議室で団体ごとのヒアリングが開催され小西慶一副会長、飯塚善明常務理事兼事務局長が出席し、意見要望を行いました。

主な要望事項は、①施策検討における障害当事者及び障害者団体参加と地方部への波及、②教育の連携も含めた心のバリアフリーへの理解促進、③東日本大震災及び熊本地震等大規模災害で被災した障害者等へのニーズに合わせた支援対策の検討、④障害者虐待防止法の施行後3年を目途とした見直しとして通報義務者の対象拡大と支援体制の課題解消、⑤平成30年度報酬改定における改定率の現行水準以上の確保

ザインの防災を考える上で、障害当事者の視点が重要。日身連としても加盟団体と連携して発信力を強めていきたい」と感想を述べました。



自民党政策懇談会の模様

⑥地方自治体と連携した身体障害者相談員の活動の後押し等です。加えて、あらゆる場における合理的配慮の提供に対する理解促進の周知啓発に力を入れるよう要望しました。また、税制に関しては、安心できる生活の保障を念頭に、平成31年秋に予定されている消費税増については、低所得な障害者の世帯への軽減税率等の対策の検討等を要望しました。